

## Code4Lib とは？

Code4Libは、アメリカを中心に活動する図書館関係のプログラマ、システム技術者を中心としたコミュニティです。2003年の秋にインターネット上のメーリングリストとして発足、2006年からは総会にあたるCode4Lib conferenceを毎年開催しています。2010年2月に開催されたcode4lib 2010には、アメリカに加え、日本を含め世界各地から約250名が参加しています。



## Code4Lib JAPANとは？

Code4Lib JAPANは、Code4Libの日本における組織を目指して結成します。現在、Code4Libは、アメリカ国内の7地域で支部的な活動が行われているほか、オランダとハンガリーにおいて海外支部的な活動が続けられています。Code4Lib JAPANでは、アメリカのCode4Libメンバーと連絡をとりつつ、日本での支部的な活動の拠点となることを一つの目標としています。

Code4Libは、図書館の情報技術活用に関するエキスパートたちの集まりですが、Code4Lib JAPANでは、日本の図書館における情報技術活用の停滞という現実を踏まえ、エキスパートに限らず、一般のライブラリアンに広く門戸を開放することで図書館における情報技術活用を促進し、図書館の機能向上と利用者の図書館に対する満足度向上を目指します。また、2011年4月を目途に、法人化（NPO法人、一般社団等）化を予定しています。

## 個人会員（サポーター） 募集中!! 法人会員（スポンサー）

Code4Lib JAPANに参加して、図書館の未来を一緒につくっていきませんか？  
詳しくは、公式サイトをご覧ください。

### コンセプト

日本の図書館をやばくする集団

### ビジョン

ICTに明るいライブラリーを全国に！

### ミッション

- ・ ネットワークづくり
- ・ 人づくり
- ・ 環境づくり

### アクション

- ・ 運営事業：法人化とネットワーク
- ・ 研修事業：技能向上、人材育成
- ・ 派遣事業：本家Code4Libへの参加
- ・ 選定事業：インセンティブづくり
- ・ 提言事業：共有API、政策提言

## Code4Lib JAPAN

代 表：丸山高弘

事務局長：岡本 真

【事務局】〒231-0011

神奈川県横浜市中区太田町2-23

横浜メディア・ビジネスセンター6F-A

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

Web: <http://www.code4lib.jp/>

Email: [info@code4lib.jp](mailto:info@code4lib.jp)

twitter: <http://twitter.com/c4libjp>

2010年11月24日 発行

ライブラリー×ウェブの力を飛躍させる

# Code4Lib JAPAN

コード・フォー・リブ ジャパン

<http://www.code4lib.jp/>

デジタル情報の  
最前線に立ち向かう  
図書館員へ

Code4Lib JAPANは、図書館振興財団による「図書館員専門職育成活動助成事業」の助成を受けて活動しています。

# ネットワークづくり

私たちCode4Lib JAPANは、数ある図書館員をつなぐ集まりの中でも、ICT（情報通信技術）を図書館活動に取り入れる実践的活動に取り組む人たちのネットワークです。日本の図書館は世界中の図書館と比較して何十年も遅れているという人がいます。しかし、ほんの少しICTに明るくなるだけで日本の図書館は大きく変わることができるのです。そしてすでに、日本の各地でそうした取り組みが始まっています。孤軍奮闘している人たちをつなぎ、応援・支援し、この国の図書館＝知的基盤を進化させる力となるネットワークづくりを行っていきます。

Code4Lib JAPAN  
Code4Lib JAPAN

# 人づくり



ICTに明るい図書館づくりは、なによりもまず、それを担う人材づくりであると考えています。

図書館情報システム、OPACはもとより、インターネット上の様々なサービスを利活用し、図書館サービスを向上させるスキルを持った人材が必要不可欠です。私たちはスキルアップに必要な、人材・機材・ノウハウを持っています。全国津々浦々をそのミッションフィールドとし、初級・中級・上級者向けのワークショップや合宿などを実施していきます。さらに次の世代の指導員も育成し、持続的なスキルアップのためのシステムを作ります。

一般会員・法人会員  
募 集 中

# 環境づくり

日本の図書館の現状は、現場にそうしたスキルがあっても実際の図書館サービスになかなか活かさせ切れないという現実もあります。私たちは、図書館サービスにインターネット上の資源やサービスを取り入れることを阻害している壁を取り払うことも必要であると考えています。一人ひとりの図書館員が持つスキルを、最大限に活かすことが、日本の図書館を元気にし、ひいては世界的にみても誇れる、ICT大国にふさわしい図書館サービスが展開できる環境づくりにも取り組みます。一人ひとりが安心して技能を向上しその能力を発揮し活躍できる環境づくりです。

Code4Lib JAPAN

図書館は成長する有機体である…すなわち…成長する有機体でなければ図書館ではない!!

図書館からコンテンツのライブラリーへ

▼図書館がICTに疎いなんてもう言わせない!!

コンテンツ流通の促進に伴い、図書館はコンテンツ（情報・知識・物語）を提供する拠点に

電子書籍、電子雑誌、電子新聞そしてデジタル教科書の成熟

Code4Lib JAPAN誕生

成長期

成熟期

ミッション・エコシステムの完成

2010

2015

2020

2025

2030

2035

※ 創造未来年表のため、必ずしもすべてが実現する訳ではありません。